

東京大学医学部附属病院でご加療中の方、 またはそのご家族の方へ

当院では、ご加療中の患者さんの医療安全の確保を目的として、医療安全に関する様々なインシデント（医療者の人為的ミスなど、治療上の不利益を生じる可能性がある事象）をAI（人工知能）技術により早期に検知することで、病院全体の安全管理を集中的に監視するシステムの開発研究を行っています。

【研究課題】

医療安全集中監視を目指したAIによるインシデント早期検知プログラムの開発研究
（審査番号：2018159NI）

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学医学部附属病院 企画情報運営部

研究責任者 土井 俊祐 東京大学医学部附属病院企画情報運営部・助教

【研究期間】

倫理審査承認後 ～ 2023年3月31日

【対象となる方】

2017年1月1日～2022年9月30日の間に、当院で入院・通院して診療を受けられている満15歳以上の方。

対象目標人数：延べ約1,000,000人

【研究の目的】

当院をはじめ我が国の医療機関の職員は、患者さんの診療・治療に際し様々な安全措置を講じることで、患者さんに安心して通院いただけるよう、日々努力を重ねております。しかしながら、医療者が扱う医薬品や医療機器などは日々進化、複雑化しており、人為的なミスを完全に防ぐには至らないことが現実です。

本研究では、AI技術を利用して患者さんの安全確保に関連するインシデントを自動的に検知し、医療者に通知する「インシデント早期検知プログラム」を開発・実装します。これにより、医療者が気づくことが難しいインシデントの発生の可能性を、情報システムで集中的に監視する機構の実現を目的としています。この研究結果をもとに、我が国の医療現場により良い安全管理システムを普及させることを目指します。

【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学医学部附属病院長の許可を受けて実施するものです。これまで、または現在の診療でカルテに記録されている病歴、診療の内容、検査の結果などのデータを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

この研究の対象となることにより、あなたの診療において安全管理に関するインシデントが発見されることがあります。その場合、あなたの治療を担当する医師や看護師には、そのインシデントの内容を通知することがあります。ただし、これは医療者に注意を促す性質のものであり、患者さんの治療に不利益が生じることはありません。また、治療を担当する医師が必要と判断した場合には、医師から通知内容を患者さんにお伝えすることがあります。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの情報・データ等は、企画情報運営部において同助教・土井俊祐が、病院情報システムネットワーク内に設置されたサーバで、厳重なアクセス管理のもとで保管します。本研究の遂行以外の目的で、あなたの個人情報を使用することは一切ありません。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局までご連絡ください。ただし、ご本人に十分な判断能力がない場合は、ご家族からのお申し出も受け付けます。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。また、研究開始後も随時お申し出を受け付けますが、その時点より前に使用していた資料からはデータを削除できないことがあります。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等において発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについては、お問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する費用は、東京大学医学部附属病院 企画情報運営部の運営費から支出されています。本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。また、本研究により発生する知的財産権について、あなたが権利を持つことはできません。

ご意見、ご質問等がございましたら、お気軽に下記までお寄せください。

2019年5月

【問い合わせ先】

東京大学医学部附属病院 企画情報運営部 助教 土井 俊祐

住所：東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-5800-8685（内線 35245） FAX：03-5803-1803

Eメールでのお問い合わせ：s.doi@hcc.h.u-tokyo.ac.jp